

KYOTO PROFESSIONAL
ARCHITECTS ASSOCIATION
Vol.137 2018.8.20

KSK

ANNUAL REPORT



ABOUT | 一般社団法人 京都建築設計監理協会

一般社団法人 京都建築設計監理協会は、1975年(昭和50年)に京都府下の建築設計監理を専業とする建築士事務所で構成する団体として発足しました。

当協会の会員は、施工業務を兼業せず、建築設計監理を専業とする建築士事務所です。

当協会の会員事務所は、世界の標準的な考え方である「設計・施工分離」によって、設計監理者と施工者がお互いに緊張感をもって、それぞれの立場を理解の上互いの提案を尊重し、協力して建築を造ることが、建築主さらに、社会への貢献につながるという考えのもとに、美しい建築と住みよいまちづくりのために努力しています。

PHILOSOPHY | 理念

建築はそれを建てる人や使う人の事業や生活にとどまらず、地域社会の環境や文化に広く影響を及ぼします。したがって、建築を創造する行為である建築設計・監理は、経済的、文化的、そして健康や教育など、あらゆる面にわたって人々の生活環境に深く関与しており、社会的に非常に重要な役割を負っています。

当協会は、自分たちが建築の創造という社会的に重要な任務を実現する為に、人間的にも技術面にも向上するようにたゆまず研鑽を重ねると同時に、その役割を遂行できるように社会的環境や法整備に努力します。

CHARTER | 憲章

私たちは、人々の願う豊かな生活環境とより良い文化を創造するという目標を持っています。私たちは、この目標を実現させるために次の憲章を定めます。

1. 私たちは、高度の専門技術と美的感性に基づく創造行為として建築設計監理業務を行います。
2. 私たちは、先人が築いてきた優れた伝統を継承しつつ、近代的な技術技能を活かし理論や技術の発展に努力します。
3. 私たちは、たゆみない研鑽によって自らの能力を高め、良い環境の創造と安全で安心できる快適な生活と豊かな文化の形成に貢献します。
4. 私たちは、「設計・施工分離」の原則のもと、常に品性をもって行動し、建築主や依頼者及び施工者やメーカーと公正な協力関係を築きます。
5. 私たちは、建築とまちづくりに関連する広い分野の人々や団体との交流を通じて、美しい建築とまちづくりのために協力し合います。

INDEX

会報誌の刷新にあたって	湯川 君雄	4
沈黙の建築と発言する建築	川下 晃正	5
大阪北部震災に際して「建築家・建築設計監理 に携わる建築士の責任」について	坂本 克也	6
事業報告		
平成29年度事業活動報告		7
平成29年度理事会・事業活動報告		8
第1回セミナー&夏のビアパーティー 開催	若野 豪宏	11
次世代委員会「実務者のための実践報告会」開催	小濱 隆宏	12
茶道裏千家 今日庵、御宗家内 見学会 開催	若野 豪宏	13
平成29年度 秋の合同研修旅行	羽生田 英雄	14
第2回セミナー 開催	若野 豪宏	15
情報サロン&協力・賛助会員 企業PRの会 開催	松木 一恭	16
合同新年交流会&第3回セミナー 開催	山路 卓也	17
平成30年度 第8回(43期)通常総会 報告	山路 卓也	18
会員作品紹介		
株式会社 アーキビジョン企画建築事務所		19
株式会社 アグラ設計事務所		21
株式会社 京都空間研究所		23
株式会社 京都建築事務所		25
有限会社 一級建築士事務所コア建築事務所		27
一級建築士事務所ザクシス		29
株式会社 住建設計		31
有限会社 一級建築士事務所ターボ設計		33
株式会社 東亜設計		35
株式会社 東洋設計事務所		37
株式会社 中村設計		39
株式会社 馬庭建築設計事務所		41
株式会社 森田設計		42
株式会社 ユマ設計		43
株式会社 吉村建築事務所		45
正会員名簿		
47		47
協力会員・賛助会員名簿		48
平成30年度役員構成		50
平成30年度事業組織及び担当役員		51
編集後記	山路卓也	52

会報誌の刷新にあたって



2020年の東京オリンピックも間近に迫り、関連施設の建設もいよいよ大詰めとなってきました。建設業界にとっては、オリンピック以降も好況で人手不足が続くのか、それとも景気が頭打ちとなり減速していくのか、気になるところです。

私見では、しばらく建設ラッシュは続き、建築関係技術者の人手不足も急には解消されず、ここ数年続くのではないかと思います。京都でも宿泊施設の建設は今も多く、一部は宿泊料金の値崩れが言われているものの、今後もしばらく続くものと思われま。それに伴い中心部の地価の高騰はすさまじく、住民が住宅を売却して郊外へと移住する動きも加速しています。町家などの建物が残ったとしても、民泊や飲食店に変わっているのを多く見かけます。かつて中心部にマンションが建設される場合は周辺住民の反対も多かったのですが、一部の町内会で、今ではマンション以外の住民はほとんど居なくなり、町内会の運営もマンションの住民がいないと成立しない事例も多く見られます。

地方の都市が衰退していることを考えると、京都は恵まれているのかもしれませんが、京都市が「職住共存地区」と名称をつけ目指していた地域の現状を考えると、この急激な変化を冷静に分析し、宿泊施設と一般住民がどう共存していくのか、新たに考えなければならない時にきていると思います。

一般社団法人京都建築設計監理協会は1975年(昭和50年)に京都府下の建築設計監理を専業とする建築士事務所で構成する団体として発足しました。

設計と施工の分離によって、それぞれの立場を理解し互いの意見を尊重しながら協力して建築を造ることが、建築主さらに社会への貢献につながるという考えのもとに活動してきました。この理念は今も変わっていません。

しかしながら43年を経て、社会情勢や建築に対する考え方も年々変化してきました。日本の人口も増加から減少へと変化し、建築も量から質を求める時代となってきました。設計の発注方式も単純なものから、PFI、デザインビルド、CM等の発注形態の多様化に適応しなければなりません。当団体としても、社会の変化や時事問題に対応すべく、日々情報収集や研修に努めています。

当会の活動を一般の方々に発信する方法手段としては年2回の会報とホームページを利用してきましたが、十分に当会の活動をPR出来ていないというのが実情でした。今回会報を一新することによって当会の活動を詳しく一般の方や会員事務所の方々にもお知らせできるよう検討を重ねてまいりました。当会の活動をPRするツールとして利用していただければ幸いです。

沈黙の建築と発言する建築



建築はその時代の社会を映す鏡と言われる。それは建築が常にその時代の政治、経済の力関係や技術力に大きく影響されて造られてきたからである。ゆえに、建築はその時代の意思を表現する手段であった。その表現者が建築家である。権力者はその権力の大きさと、その意思を表現する手段とした。民衆も同様である。そして、それぞれの意思を表現することを、それぞれが信頼する建築家に委ねた。それゆえに、建築家は常に社会と向き合うことを求められ、その姿勢をもとに表現者としての役割を果たすことが必要であった。

その表明の仕方には二つある。一つには社会を内面で受け止め、精神の静謐なレベルに高める存在として表現すること。すなわち「沈黙の建築」である。もう一つは、それを批判し、提案に向けて発言するダイナミックな表現体としての表明である。すなわち「発言する建築」である。

精神性を表現する「沈黙の建築」は、「人間の本质にせまる精神性をシンボライズ」し、一方の「発言する建築」は、「社会や人間の活動をダイナミックに空間化」する。この二つは、建築が本来持っている性格であるが、建築は、歴史的には精神性を表現する性格を強く持って成立してきたと言えるのではないか。宗教的精神を最も分りやすく表すことができたからである。しかし、時代が変化し、社会や人間の活動が多様かつ流動性を高めてくると、建築は、精神性を表現する沈黙的性格を凌駕して、ダイナミックに変化する社会をダイレクトに表現するようになる。社会に大きな変化が生じた場合、その社会的性格を建築が受けて表現するには、どうしても受身の態勢では難しい。ダイナミックに社会を表現する「発言する建築」が発動することになる。しかし、そんな時でも「精神性を表現する建築」を希求するという側面は存在する。そのどちらを選択し、建築として表現するかは建築家に委ねられている。それは建築家の社会を読み取る思想や感性、すなわち、その建築家の生き方そのものにかかわっている。「沈黙と発言」は対極にある概念であるが、この両者を思考の中にかに取込むかは、時代の表現者としての建築家の重大なテーマなのだ。名建築家と言われる建築家は、主張し、発言すると同時に、精神性の表現も備えている。現代建築におけるその代表がコルビジェであり、日本における代表が前川國男であると私は思っている。

大阪北部震災に際して 「建築家・建築設計監理に 携わる建築士の責任」について



6月17日午前8時直前、朝食をとろうとしている時に突如大きい地震が発生した。八幡市は「震度5強」とあとの報道で知った。

自宅にもところどころ不具合部分が発生した。例えば正面玄関のヒノキの格子風の引き違いのドアが、開けることが出来ない様子である。しかし一方、庭の鋼製のくぐり戸は以前の地震で開閉に不具合が生じていた部分が今回の地震でその不具合部分が正常に戻った。したがって今回の玄関の建具も次の“余震”の揺戻しに期待してしばらく放置しようかとも考えたが、玄関の入り口の建具の用途上、来客に対する対応が出来ないので早急に治す手配をする必要がある。が、・・・

妻に言わせると「地震保険を掛けているので、保険会社と協議の上、修理をしましょう」と提案。本日、保険会社の現場調査がある。

これは、私個人の家であるため、自由に対応できるが、我々の業務として設計監理をさせていただいた建築物には引き渡し時に“火災保険以外にも地震保険にもお入りになられたらよろしいね”とお勧めするべきだと痛感した。

今回の地震で「建築家・建築設計監理に携わる建築士の責任」の重大さを再認識した。

引き渡し時に其後の建築主としての任務、責任、オブリゲーション(obligation-契約・約束・立場上から生じる義務、責務)について十分すぎるぐらいに、建築主にお伝えし、それを建築主が実践されるように働きかけることが我々の大きい任務である。と・・・

今回の大阪北部震災での「小学校のブロック塀の崩壊による小学生の死亡」の記事に接し、居たたまれない思いをした。

完成した建築物に対しての「定期調査・検査と定期報告」が(一定規模以上の建築に)義務化されている。この件においても建築主の重大なオブリゲーションである。一方、我々がこの定期調査・検査と定期報告を受注しその任務を遂行した場合の責任の大きさ、とその結果の改善に完全に取り組むようにその調査・検査の発注者(建築主)に働きかけることが当然の受注者の責任である。これらの実践があれば、いたいけな少女の悲劇は回避できていたであろう。

建築設計監理者は建築に対しての維持管理においても更なる責任を求められることになろう。

自宅のクラック部分の修理をコテをもって自分で行いながらつくづく思った。

平成29年度 事業活動報告

京都市内では町中のあちこちに大小の建築現場が見られるようになりました。多くはホテル、旅館、簡易宿舎などの宿泊関連施設の様です。これにともない中心部の土地価格は上昇し、一見バブル期を連想させる状況にあります。

確認申請もかなり増加しているのかと思い確認申請機関に問い合わせると、昨年度の確認申請自体は宿泊施設をあわせても前年と比べて増加していないとのこと。また中心部では住宅関係の申請はかなり減少しているそうです。

この結果から、中心部からは住民が減り、宿泊施設は現在多く建設されていますが本年度以降はそんなに増えないものと思われます。これまで新築建物が多かったということは、京都市が目指す「景観政策に基づいた建物」に急激に変わりつつ有り、一部の通りでは街並みが一変しているようにも思えます。但し中心部は、職住共存地区というよりは住民の少ない観光、宿泊、飲食地区に変わりつつあるように思います。町家は急速に解体され町内会自体も成立しない地域があるように聞いています。

景観法が導入された時に目指した理念とはかなり異なっているように思います。行政はしっかりした統計に基づくデータを分析し、今後のまちづくりの方向を考えなければならぬと思います。我々の団体としてもこの問題について今後議論したいと思います。

さて、本年度もセミナーを中心に活動して参りました。長年の間、設計事務所は長時間労働があたりまえの業種でしたが、国内のあらゆる業界が労働条件の改革に取り組んでいる今、建設業界も例外ではありません。本年度は労務や働き方改革をテーマとしてセミナーを行って参りました。会員の皆様も是非、働き方改革に取り組んでいただきたいと思います。

京都府と京都市との懇談会につきましては、当会の専業設計事務所としての設立趣旨を説明し、理解していただきました。また、発注側、受注側ともに設計の技術を次世代にどのように継承していくかが問題となりました。

次世代委員会も本年度は1回の開催となりましたが、多くの所員の方にも参加していただき好評を得ました。

本年も当会の活動にご協力いただきましてありがとうございました。

平成29年度 理事会・事業活動報告

日付	内容事項	部会・委員会	参加数	会場
4月10日	4月理事会(第12回)		10	事務局
15日	(公社)日本建築家協会 近畿支部 京都地域会 総会后懇親会出席	総務部会	1	京都市国際交流会館 特別会議室
17日	News Letter 4月号 発行	総務部会		
26日	「裕話会」第19回講演会・懇談会	情報交流部会	1	ANAクラウンプラザホテル京都
5月8日	京都市景観政策課 「歴史的景観保全に係る施策概要」説明会	総務部会	6	
8日	5月理事会(第13回)		13	事務局
9日	News Letter 5月号 発行	情報交流部会		
16日	平成29年度 耐震改修促進ネットワーク 地域ネットワーク合同会議 出席	情報交流部会	1	アーバネックス御池ビル
23日	(一社)京都府建築士事務所協会総会 後懇親会 出席	総務部会	1	ANAクラウンプラザホテル京都
26日	平成29年度第7回(第42期)通常総会・懇親会 理事会(第1回)	総務部会	77 18	京都ホテルオークラ
6月9日	(一社)京都府建築士会総会后懇親会出席	総務部会	1	京都ブライトンホテル
9日	春の合同親睦ゴルフコンペ 開催	総務部会	11	信楽カントリー倶楽部
12日	6月理事会(第2回)		10	事務局
15日	News Letter 6月号 発行	情報交流部会		
16日	京町家等継承ネット第4回全体会議 出席	情報交流部会	1	京都市景観まちづくりセンター ワークショップルーム
20日	平成29年度 耐震改修促進ネットワーク 第1回耐震診断スキルアップ講座 出席	情報交流部会	2	アーバネックス御池ビル東館
27日	平成29年度 平成の京町家コンソーシアム 第1回理事会 出席	情報交流部会	1	京都市住宅供給公社
7月10日	7月理事会(第3回)		10	事務局
15日	会報135号 発行	情報交流部会		
19日	News Letter 7月号 発行	情報交流部会		
25日	平成29年度 平成の京町家コンソーシアム 総会 出席	情報交流部会	1	コープイン京都
28日	第1回会員増強会議	総務部会	8	(株)中村設計会議室
28日	第1回セミナー&夏のビアパーティー開催 セミナー:設計事務所(会社)の成長 ～コスト意識とリーダー育成～ 講師:成岡 秀夫氏 (中小企業診断士、株式会社 成岡マネジメントオフィス代表取締役) ビアパーティー	技術研修部会 総務部会	53 49	アランヴェールホテル京都
8月1日	第9回京都市建築物安心安全実施計画 推進全体会議 出席	安心安全推進 委員会	1	ハートンホテル京都
8日	8月理事会(第4回)		3	事務局
18日	News Letter 8月号 発行	情報交流部会		
22日	平成29年度 耐震改修促進ネットワーク 第1回京都市耐震ネットワーク全体会議 出席	情報交流部会	1	コープイン京都
30日	京都建築関係四団体協議会 会議・懇談会 出席	情報交流部会	4	(一社)京都府建築士事務所協会
9月5日	平成29年度京都市景観デザイン会議 第1回作業部会 出席	技術研修部会	1	京都市役所 本庁舎F会議室

事業報告

BUSINESS REPORT

日付	内容事項	部会・委員会	参加数	会場
8日	実践報告会開催 株式会社 京都建築事務所 「真宗大谷派 大谷専修学院新築工事」 株式会社 ノム建築設計室 「料飲施設2件 ザ・ガーデンオリエンタル大阪・ 西庭プロジェクトならびに東山八坂プロジェクトにおける、 他デザイナーとのコラボレーション」 懇親会	技術研修部会 次世代委員会	34 23	ウイングス京都 京ほのか 四条烏丸店
11日	9月理事会(第5回)		11	事務局
14日	News Letter 9月号 発行	情報交流部会		
19日	平成29年度 京都市耐震改修促進 ネットワーク会議 第2回耐震ネットワーク講座 出席	情報交流部会	1	京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都
26日	京都弁護士会 「京都各士業の2018年新春賀詞交歓会」 事前打合せ会出席		1	京都弁護士会館
29日	見学会開催「裏千家 今日庵 宗家内」懇親会	技術研修部会	37 18	裏千家 今日庵 さかき
10月10日	10月理事会(第6回)		10	事務局
10日	第2回会員増強会議	総務部会	5	事務局
16日	News Letter 10月号 発行	情報交流部会		
17日	平成29年度 京都市耐震改修促進 ネットワーク会議 第2回耐震診断スキルアップ講座 出席	情報交流部会	1	アーバネックス御池ビル東館
18日	平成29年度 安心安全推進委員会 「一斉公開建築パトロール」出席	情報交流部会	2	
18日	京都弁護士会「京都各士業の2018年 新春賀詞交歓会」第2回準備会 出席		1	京都弁護士会館
20日～21日	秋季合同研修旅行 研 修: 可児 LIXILサンウェーブ製作所 宿 泊: 長良川温泉 十八楼 観 光: みんなの森 ぎふメディアコスモス, 可児市文化創造 センター, 多治見モザイクタイルミュージアム ゴルフ: 美濃関カントリークラブ	総務部会	17	岐阜県可児市
30日	平成29年度京都市景観デザイン会議 第1回本会議 出席	技術研修部会	2	京都市役所F会議室
11月 7日	平成29年度 安心安全推進委員会 「紛争処理委員 実務研修」出席	情報交流部会	2	ブリーゼプラザ
9日	第2回セミナー開催 講演会: 「建築士のトラブル回避術」 講師: 今堀 茂氏(京都みらい法律事務所) 懇親会	技術研修部会 総務部会	45 25	ハートンホテル京都
13日	11月理事会(第7回)		9	事務局
15日	News Letter 11月号 発行	情報交流部会		
15日	京都弁護士会「京都各士業の2018年 新春賀詞交歓会」第4回準備会 出席		1	京都弁護士会館
17日	植田喜裕講演会「総会」出席	総務部会	1	ANAクラウンプラザホテル京都
17日	平成29年度 京都市耐震改修促進 ネットワーク会議 第3回耐震ネットワーク講座 出席	情報交流部会	1	京都府立総合社会福祉会館 ハートピア京都
17日	京都市建築物安心安全実施計画推進会議 第7回既存建築物対策分科会 出席	安心安全推進 委員会	1	職員会館かものがわ
19日	平成29年景観市民会議 (景観デザイン会議 調査部会) 出席	技術研修部会	1	ひと・まち交流館京都
20日～22日	京都市立京都工学院高等学校生の インターンシップの受入 (株)莫設計同人、(株)京都建築事務所 (有)一級建築士事務所ターゴ設計、(株)京都空間研究所 (有)一級建築士事務所コア建築事務所、(株)ユマ設計 (順不同)	総務部会	6社 7名	
28日	第1回情報サロン&協力・賛助会員企業 PRの会 開催 企業PR: ダイキンHVACソリューション近畿(株) (株)京都確認検査機構 日本ERI(株)京都支店	総務部会	44 37	アサヒスーパードライ京都 2階

事業報告 BUSINESS REPORT

日付	内容事項	部会・委員会	参加数	会場
12月 8日	建築士会 全国大会 京都大会「大会式典」出席	総務部会	1	京都市勧業館「みやこめっせ」
9日	新景観政策10年 総括シンポジウム 出席	総務部会	1	京都府立京都学・歴史館
11日	12月理事会(第8回)		11	事務局
11日	第1回選挙管理委員会 開催	選挙管理委員会	4	事務局
14日	平成29年度 平成の京町家コンソーシアム 第2回理事会 出席	情報交流部会	1	京都市住宅供給公社
15日	News Letter 12月号 発行	情報交流部会		
15日	平成29年度京都市景観デザイン会議 第2回作業部会 出席	技術研修部会	1	京都市役所 本庁舎E会議室
1月 1日	新年会報136号 発行	情報交流部会		
6日	(一社)京都府建築士会新年交礼会 出席	総務部会	1	ホテルグランヴィア京都
9日	官公庁への年始挨拶回り	総務部会	5	
9日	1月理事会(第9回)		11	事務局
12日	(一社)京都府空調衛生工業協会 新年互礼会 出席	総務部会	1	ANAクラウンプラザホテル京都
13日~14日	耐震改修促進ネットワーク 「すまいの耐震スクール」出席	情報交流部会	2	京都市市民防災センター
16日	京都弁護士会 「新春!各士業等のマッチング交流会」出席		10	京都ホテルオークラ
16日	News Letter 1月号 発行	情報交流部会		
18日	(一社)京都設備事務所協会新年交礼会 出席	総務部会	1	京都ロイヤルホテル&スパ
26日	第1回会長指名委員会 開催	選挙管理委員会	5	京都ホテルオークラ
26日	第2回選挙管理委員会 開催	選挙管理委員会	4	京都ホテルオークラ
26日	合同新年交流会 講演会開催 講演会「働き方改革と生産性向上」 ~建築設計事務所の働き方改革を効果的に実現するために~ 講師:前村 義明氏(My社労士事務所・社会保険労務士) 懇親会	技術研修部会 総務部会	63 62	京都ホテルオークラ
2月 2日	京都市建築物安心安全実施計画推進会議 第9回危険建築物対策分科会 出席	安心安全推進 委員会	1	職員会館かみがわ
13日	2月理事会(第10回)		12	事務局
15日	平成29年度京都市景観デザイン会議 第3回作業部会 出席	技術研修部会	1	京都市役所 北庁舎 5階 都市計画局会議室
15日	News Letter 2月号 発行	情報交流部会		
16日	京都府との懇談会	情報交流部会	7	ザ・パレスサイドホテル 2階
20日	平成29年度 京都市耐震改修促進 ネットワーク会議 第3回耐震診断スキルアップ講座出席	情報交流部会	1	コープイン京都
23日	京都市との意見交換会	情報交流部会	6	京都市役所 北庁舎 5階 都市計画局会議室
3月 2日	第3回選挙管理委員会開催	選挙管理委員会	5	事務局
4日	京町家等継承ネット 京町家・空き家相談会 出席		2	京都市景観・まちづくりセンター
6日	京都市建築審査課「法令ハンドブック(一部改正)」 及び「条例改正(3/29改正予定)」説明会	情報交流部会	5	事務局
6日	3月理事会(第11回)		6	事務局
12日	京都再エネコンシェルジュ認証制度検討委員会	情報交流部会	1	ハートンホテル京都「嵐山」
19日	平成29年度京都市景観デザイン会議 第2回本会議 出席	技術研修部会	2	京都市役所 本庁舎E会議室
20日	News Letter 3月号 発行	情報交流部会		
20日	平成29年度 耐震改修促進ネットワーク 第2回京都市耐震ネットワーク全体会議 出席	情報交流部会	1	コープイン京都
27日	京都市建築物安心安全実施計画推進会議 第7回細街路対策推進分科会 出席	安心安全推進 委員会	1	職員会館かみがわ2階 中会議室

第1回セミナー&夏のビアパーティー開催 設計事務所(会社)の成長とは ～コスト意識とリーダーの育成～

技術研修部会 部会長 若野 豪宏

講師 成岡 秀夫
株式会社成岡マネジメントオフィス 代表取締役・中小企業診断士

日時 2017年7月28日(金)18時15分～20時15分
於：アランヴェールホテル京都



成岡先生は、三菱レイヨンの技術者として就職した後、32歳で義兄の出版社に転身されました。同社の経営破綻を機に系列会社に転籍され、その後も清算業務に携わっておられました。その経験から中小企業診断士の資格を取得、2004年独立され、中小企業の再生支援、経営革新等のスペシャリストとして日々活躍されておられます。

セミナーでは、事務所のマネジメントから、所員一人一人がコスト意識を持つ大切さを詳しく解説していただき、付加価値を生み出す大切さ、労働生産性向上の実例紹介そして、我々が重要だとわかっていながらも理解し切れていない損益分岐点の把握などコスト意識について詳しく講演していただきました。

最後はリーダーシップの大切さ、難しさについても解説いただき、経営側、若手社員双方にとって、事務所の運営、経営を考えるよい機会をいただけたと感謝しております。



次世代委員会 「実務者のための実践報告会」開催

次世代委員会担当理事 小濱 隆宏

発表 株式会社 京都建築事務所 山根 宗泰
株式会社 ノム建築設計室 小濱 隆宏

日時 2017年9月8日(金)
於：ウイングス京都

平成29年9月8日、中京区のウイングス京都にて「実務者のための実践報告会」を開催しました。久しぶりの開催、かつ直前の告知にも関わらず、理事、会員事務所の若手技術者、賛助会員など計34名の参加を頂き、会場は満員となりました。



この企画は技術研究部会・次世代委員会によるもので、次世代を担う正会員・所員の技術向上や交流を目的に、会員事務所に近年の実績作品を紹介して頂き、貴重な経験を共有することで、会員、とくに若手実務者の技術力向上に繋げようというものです。

今回は京都建築事務所の山根宗泰氏より「真宗大谷派大谷専修学院新築工事」、ノム建築設計室の小濱隆宏より「ザ・ガーデンオリエンタル大阪・西庭プロジェクト」および「東山八坂プロジェクト」の事例を紹介。

京都建築事務所の事例では敷地内増築における可分・不可分扱い、景観規制への適合の考え方や難しさ、プロジェクトを進める中での建築主との相互理解など、様々な観点で学べる内容が多かった。ノム建築設計室の事例では、結婚式場・レストランといった施設の特殊性、インテリア、造園といった他のデザイナーとの協業の難しさと面白さを紹介しました。ともに類似事例の少ない案件であり、興味深い内容であったと思います。

報告会終了後は、会場を付近の飲食店に移して懇親会を開催。座敷を埋め尽くす25名の参加を頂き、普段は接することの少ない同業他社・同世代のスタッフ同士が公私の話題で盛り上がり、見識と交流を深めました。また実務者と賛助会員の意見交換や交流も活発に行われ、時間が足りないと感じられる程でした。

この報告会を開催するたびに、若手実務者の技術力向上、交流は非常に重要であり、何よりも視野が広がる貴重な機会であると感じます。報告会に限らず、様々な次世代向けの企画を開催できないか検討していますので、今後ともよろしくお願いいたします。



茶道裏千家 今日庵、御宗家内 見学会開催

技術研修部会 部会長 若野 豪宏

見学場所 裏千家 今日庵 ご宗家内茶室

日時 2017年9月29日(金)15時～16時30分

裏千家御家元の御計らいで、非公開の今日庵はじめご宗家内の茶室を拝観させていただきました。茶室という言葉は非常に身近であるにも関わらず、茶道未経験者が多いこともあり、建物見学に加え茶道を体験する席を用意しました。見学会では、マニアックな質問も多く飛び交い、細部にわたってじっくり時間をかけて拝観させていただきました。明りのない茶室では、自然光の変化、外とのつながりや幽々たる空間を体験し、わずかな光や茶の香りなどの感覚を大切にしてお茶をいただく情景を思い浮かべました。



見学会直後の10月から解体を伴う改修を行っている今日庵。歴史を刻んだ土壁の風景に侘びた美しさを感じました。

裏千家御家元はじめご宗家の皆様並びに、お茶の席をご用意いただきました、業体部の皆様に感謝申し上げます。



平成29年度 秋の合同研修旅行

会員交流・情報サロン担当 羽生田 英雄

研修場所	LIXILサンウェーブ 製作所 阿児工場
ゴルフ	美濃関カントリークラブ
見学場所	GIFU MEDIA COSMOS みんなの森 他
日時	2017年10月20日(金)～21日(土)

今年も恒例の合同研修旅行が実施されました。見学先の岐阜県可児LIXILサンウェーブ製作所可児工場に到着。レクチャーを受けた後、受信機、イヤホンを身に付けキッチン製作工場を見学させていただきました。各工程について、丁寧な説明を受けながら人口大理石トップからシンク接合、仕上まで熟練工の手作業にて行われている事等、工場内は想像以上に工員さんが多く、人に支えられた物作りが今も行なわれていました。



見学終了となり、宿泊地「十八楼」(長良川温泉)に到着。夕食まで時間に余裕があり、私も「川原町」のまちなみ散策に同行。古い町並みが良く整備保存され往時をしのぶ事ができ、住民の方の熱意を感じる事ができました。

協同組合副理事長の進行でまず湯川会長の挨拶。富士機材(株) 櫻井恵紹様、(株)LIXIL 関係者様への謝辞が述べられ開宴となりました。和気あいあいとした時間が過ぎ、懇親会は組合理事長の閉会の挨拶にて終了となりました。

2日目はゴルフ組11名は美濃関カントリークラブへ朝早くから出発。観光組は5名で建物見学でした。いずれも著名な建築家の作品であり「GIFU MEDIA COSMOSみんなの森」「可児市文化創造センター」最後に「多治見市モザイクタイルミュージアム」となり、充実した見学ができたと思います。

ゴルフ競技は文化シャッター(株) 村井様の優勝で終了となり、一路帰郷の途に就きました。多くの皆様方の御協力、御支援により、本年も無事に終了させて頂きました。

御参加賜りました会員、賛助会員様。心より御礼申し上げますと共に今後共、宜しくお願い申し上げます。ありがとう御座いました。



第2回セミナー 建築士のトラブル回避術

技術研修部会 部会長 若野 豪宏

講師 今堀 茂氏
京都みらい法律事務所 弁護士・一級建築士・一級建築施工管理技士

日時 2017年11月9日(木)18時30分～20時25分
於：ハートンホテル京都



大学卒業後、ゼネコンに就職され大型案件の現場を経験された後、法科大学院で法律を学ばれ、弁護士資格を所得された異色の経歴をお持ちの今堀茂先生に、日常で我々建築士が困っている法律上の問題について、「建築士のトラブル回避術」と題してご講演をいただきました。

「法律の基礎」から、「契約と不法行為責任」、「契約時、打ち合わせ、図面作成など業務の各場面で直接役に立つノウハウや注意点」について、難解な内容を分かりやすくご説明いただきました。建築に精通した先生のお話は明確で、設計者の立場を理解されたアドバイスは非常にありがたく、すぐにでも実践すべき内容でした。設計の技術向上だけでなく、法を意識した業務がいかに大切かを実感しました。

最後になりましたが、主催いただいております京都府建築家協同組合様並びに、共催いただいております京都商工会議所様のご協力に感謝いたします。



情報サロン&協力・賛助会員 企業PRの会開催

会員交流・情報サロン担当理事 松木 一恭

発表 ダイキンHVACソリューション近畿 株式会社
株式会社 京都確認検査機構
日本ERI 株式会社 京都支店

日時 2017年11月28日(火) 於:アサヒスーパードライ京都

平成29年第1回 企業PRの会が平成29年11月28日アサヒスーパードライ京都で開催されました。参加人数は45名でした。

PRされた企業は ダイキンHVACソリューション近畿株式会社、株式会社京都確認検査機構、日本ERI株式会社京都支店の三社でした。

演題は以下の通りで、業界において避けられない省エネルギーや法的制限、補助金等に関わる内容に関する内容で、充実したPRでした。

ダイキンHVACソリューション近畿株式会社からは「空調業界の動向と新商品のご紹介」で省エネルギーに関連する補助金内容や個別空調の細分化を考慮した快適な空調機器の新商品など今後の設計や営業に活かせる内容でした。

株式会社京都確認検査機構からは「用途変更等と京都の動向」で京都内において今後、予定される用途変更や民泊、町家に関連する条例改正や採光などについての改正内容等で今からの計画や設計に活かせる内容でした。

日本ERI株式会社京都支店からは「今後の確認申請とERI」ということで先進的なBIMを取り入れた申請のシステムや省エネルギー申請での軽微変更の内容等で今後の確認申請等の動向のさきがけを知ることができました。

企業PRの会の終了後、湯川会長の挨拶があり、賛助会員の代表として影近設備工業の代表取締役 影近様の乾杯の音頭で38名が参加された懇親会が有意義におこなわれた。

懇親会においてもあちこちで活発な議論が行なわれていた。

最後に羽生田副会長からの挨拶で閉会となった。



合同新年交流会 & 第3回セミナー開催 働き方改革と生産性向上 ～建築設計事務所の働き方改革を 効果的に実現するために～

理事 山路 卓也

講師 前村 義明
My社労士事務所・社会保険労務士

日時 2018年1月26日(金)
於：京都ホテルオークラ

京都府建築家協同組合と京都建築設計監理協会の合同新年交流会と第3回セミナーが平成30年1月26日、京都ホテルオークラで開催されました。

まず第3回セミナーとして、講師にMy社労士事務所・社会保険労務士の前村義明氏を迎えて、「働き方改革と生産性向上」～建築設計事務所の働き方改革を効果的に実現するために～と

題して講演して頂きました。今話題の「働き方改革」について、他社の事例で取り組み内容や効果について紹介。また事務所衛生基準等の作業環境改善に至るまで限られた時間の中で幅広い内容をお話して頂きました。講演会出席者は64名でした。

講演会の後は新年交流会を来賓3名、セミナー講師の前村氏にもご出席頂き、正会員・所員19名、賛助会員・協力事業会員39名の計62名の出席で開催されました。



平成30年度 第8回(43期)通常総会 報告

理事 山路 卓也

日 時 2018年5月25日(金) 於：京都ホテルオークラ

平成30年度第8回(43期)通常総会は、平成30年5月25日(金)京都ホテルオークラに於いて開催されました。

3階光舞の間に於いて15:30より開会しました。司会の(株)京都空間研究所の松木理事による開会宣言に続き、湯川会長の挨拶の後、恒例により司会者指名で(株)アグラ設計事務所の安倉理事、(株)吉村建築事務所の中尾理事が議長に選出されました。また、議事録署名人に(株)中村設計の下西理事、(株)萩本建築設計事務所の萩本理事が選出されました。

続いて議案の審議に入りました。

第1号議案の平成29年度事業活動報告については、湯川会長より一般報告がなされ、続いて木邑副会長より組織活動報告、羽生田副会長より研究・研修活動報告がなされ、承認されました。

第2号議案の平成29年度収支決算報告については、木邑副会長より決算内容の説明があり、松村監事による監査報告の後、承認されました。

第3号議案の平成30,31年度役員選出の件に入り、選挙管理委員会の中尾委員長より、理事・監事予備選挙の経過報告と開票結果報告がありました。役員選挙の提案として、理事会より理事・監事候補の名簿が提案され、全員信任されました。

ここで総会は、一旦休憩をとり、その間に別室で第1回理事会が行われました。

再開後、湯川会長より第1回理事会で決議した平成30年度役員構成、事業組織及び担当役員が発表されました。この中で、副会長を3人体制とし、新たに(株)京都空間研究所の松木理事が副会長になることになりました。

第4号議案は、湯川会長より平成30年度事業活動計画案、木邑副会長より組織活動計画案、羽生田副会長より情報交流・事務所運営の活動計画案、松木副会長より研究・研修活動計画案が発表され、承認されました。

第5号議案の平成30年度収支予算案については、木邑副会長より予算案の説明があり、承認されました。

第6号議案の会員制度については、湯川会長より名誉会員に関する細則を定めることについて説明があり、承認されました。

以上全ての議事を滞りなく終えて、最後に湯川会長の閉会の挨拶で閉会しました。

総会の後は、曲水の間に会場を移して、18:00より京都府建築家協同組合との合同懇親会が、京都府、京都市、関係団体から来賓11名、正会員14名、賛助会員・協力事業会員44名の計69名の出席を得て開催されました。

(株)莫設計同人の松村理事の司会で、湯川会長の挨拶の後、来賓各位のご祝辞を頂き、一般社団法人京都府建築士会の岩村副会長による乾杯の御発声により、懇親会が始まりました。その後は来賓の方々との意見交換、正会員と協力・賛助会員との交流等、有意義なひと時を過ごし、京都府建築家協同組合の下西理事長の閉会の挨拶をもって懇親会は盛会のうちに終了致しました。

